

『熊本県を元気にする高知応援隊』に参加して

地盤防災課 奥村 昌史

1. はじめに

『平成 28 年熊本地震』により大きな被害を受けた被災地に、『熊本県を元気にする高知応援隊』として 23 名の有志で、炊き出し支援を実施しました。

期間は、2016 年 5 月 3 日（火）20:00～5 日（木）6:15 の 0 泊 3 日の弾丸ツアーでした。支援を行った場所は、震度 7 を観測した阿蘇郡西原村の西原中学校です。

表 1-1 工程表

時刻	場所	備考
5/3 20:00	高知駅	2 台（バス、ハイエース）で出発
5/3 23:50	八幡浜港	フェリー（仮眠）
5/4 2:15	臼杵港	
5/4 6:15	熊本市内	
5/4 11:30	西原中学校	炊き出し活動
5/4 15:00	益城町	現地視察
5/4 17:00	熊本市内	
5/4 23:00	臼杵港	フェリー（仮眠）
5/5 3:15	八幡浜港	
5/5 6:15	高知駅	



写真 1-1 土佐人魂

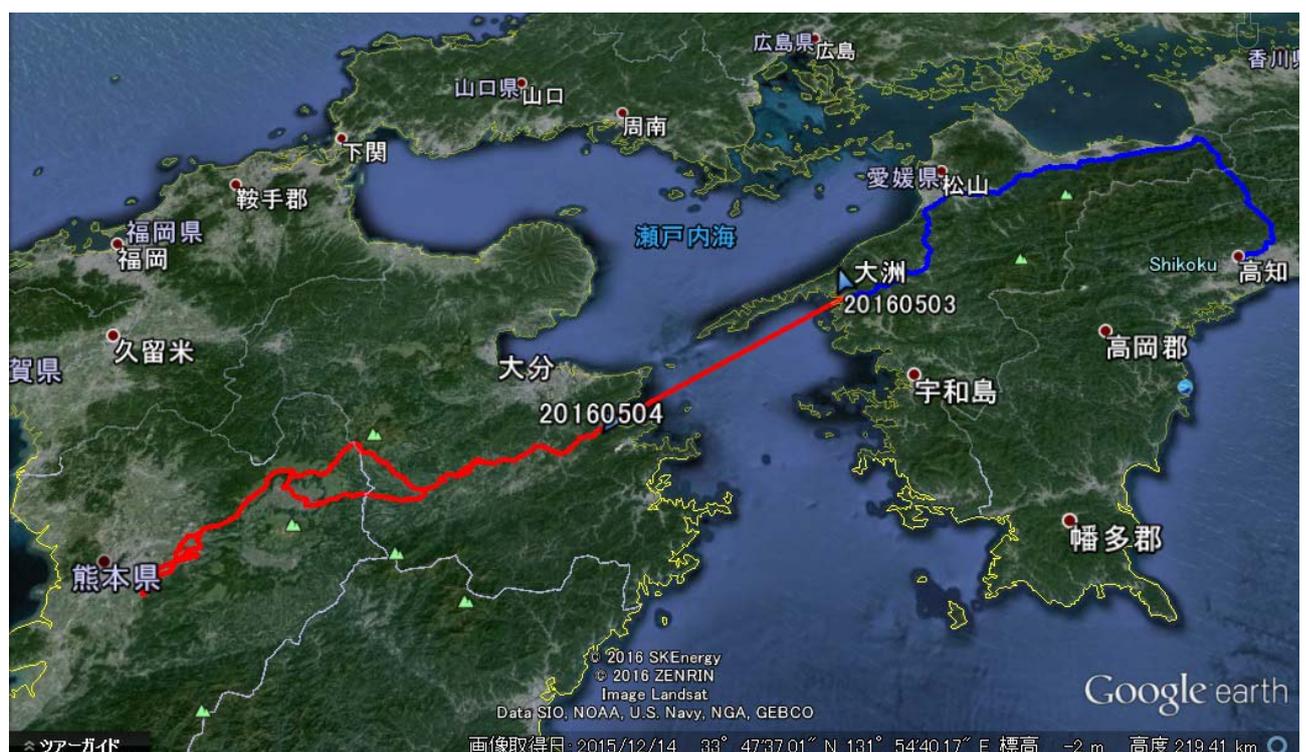


図 1-1 移動工程 (Google earth)

2. ボランティア活動

私は、被災地での炊き出しは平成 23 年の東北地方太平洋沖地震に続き 2 度目の経験です。

今回の炊き出しメニューは、四万十豚ぶっかけうどん、須崎カンパチとブリのステーキ、南国のフルーツトマト、小夏、ミョウガ、リープル、ごっくん馬路村、北川村ゆずサイダー、芋けんぴなど、高知県内の各所からご提供頂いた高知の産物です。

私が担当した炊き出しは、須崎カンパチとブリのステーキでしたが、被災後に初めて魚を食べる方ばかりで非常に喜んで頂きました。中には、複数回おかわりに来てくれた人がおられ、私もとても嬉しかったです。

また、避難所では、東北と同じく此処でも自分の仕事をこなしながら子供達と遊ぶ自衛官の姿に頭が下がりました。



写真 2-1 炊き出し準備



写真 2-2 炊き出し状況



写真 2-3 炊き出し状況



写真 2-4 避難所状況



写真 2-5 避難所状況

3. 被災地現地調査

ボランティア活動後に益城町の被災状況の調査を行いました。益城町は、4月14日の前震でマグニチュード6.5、震度7を記録し、4月16日の本震でマグニチュード7.3、震度7を記録しました。震度7を2回連続で観測した事例は、観測史上初めてです。震度7の記録は、過去の地震でも数例しか無く、平成16年新潟中越地震の新潟県川口町、平成23年東北地方太平洋沖地震の宮城県栗原市に続く記録です。

以下の写真は、現地調査を実施した箇所の被災前後を比較したものです。擁壁や家屋が壊滅的な被害を受けていることが分かります。

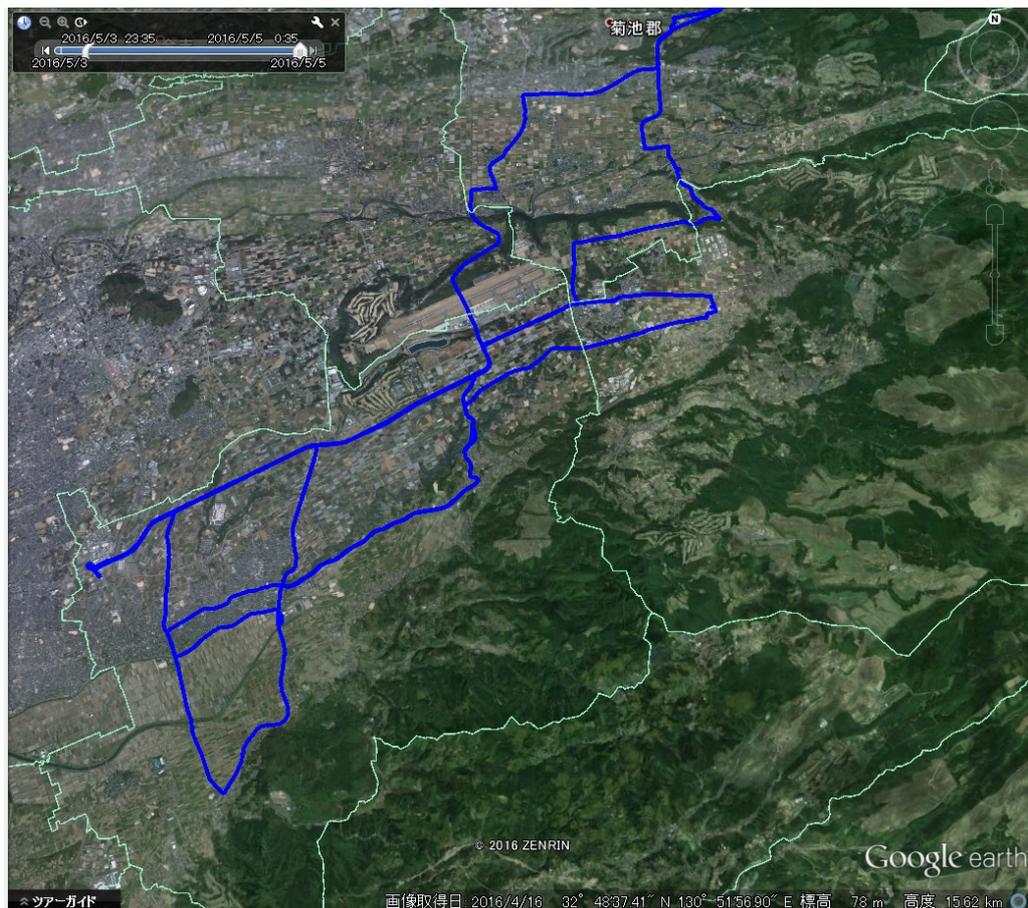


図 3-1 踏査ルート (Google earth)



写真 3-1 ブロック積み擁壁の倒壊



写真 3-2 被災前
(google ストリートビュー : 2015 年 1 月)



写真 3-3 惣領神社



写真 3-4 被災前
(google ストリートビュー：2015年1月)



写真 3-5 被災後 (木造2階建て)



写真 3-6 被災前
(google ストリートビュー：2013年12月)

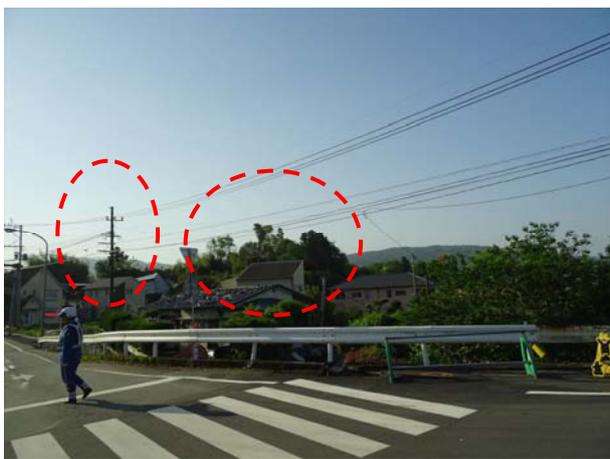


写真 3-7 被災後



写真 3-8 被災前
(google ストリートビュー：2013年11月)

写真 3-7～8 では、被災前に確認出来る針葉樹と竹林が被災後の写真には確認出来ない。



図 3-2 写真位置図



写真 3-9 被災後（石積み擁壁）

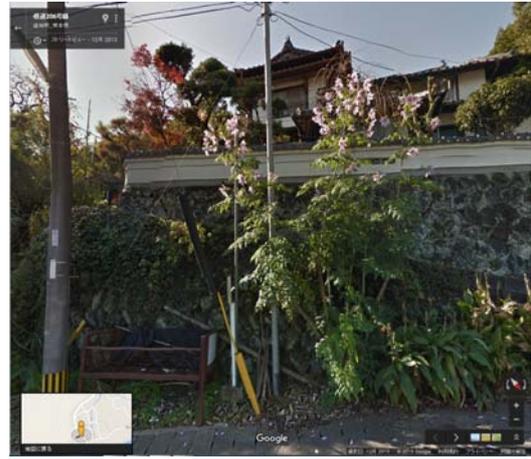


写真 3-10 被災前
(google ストリートビュー：2013 年 11 月)



写真 3-11 被災後（木造 2 階建）



写真 3-12 被災前
(google ストリートビュー：2013 年 11 月)



写真 3-13 被災後（木造 2 階建）



写真
(go

写真 3-11～15 では、土木学会の 4 月 16 日付の速報（本震前）では、2 棟とも倒壊していないが本震後に倒壊していることが分かります。



旧耐震と新耐震の建物被害の相違
写真 3-14 土木学会速報（4 月 16 日付）



写真 3-16 被災後 (S造4階建て)



写真 3-17 被災前
(google ストリートビュー : 2013 年 12 月)



写真 3-18 被災後 (車両上部は3階部分)



写真 3-19 被災前
(google ストリートビュー : 2013 年 12 月)



写真 3-20 被災後 (S造4階建て)



写真 3-21 被災前
(google ストリートビュー : 2013 年 12 月)



写真 3-22 被災後（木造 2 階建）



写真 3-23 被災前
(google ストリートビュー：2015 年 2 月)



写真 3-24 被災後（ブロック積み擁壁）



写真 3-25 被災前
(google ストリートビュー：2013 年 11 月)

今回の地震において、比較的新しい建築物が、2度の震度7の地震動により倒壊に至っている事例が確認されています。地震で倒壊を免れた建築物もこれまでの地震動によるダメージを受けていることから、建築物の健全性評価もより細部にわたる詳細調査が必要ではないかと思われまます。

また、東北地方や新潟県中越地方など過去の地震で震度7を経験した地域についても、同様に検討や再調査が必要ではないかと思いました。

4. おわりに

高知県は南海地震が今後30年以内に70%の確率で発生するとされており、自分自身もいつ被災者となるか分かりません。そういった中で今回のボランティア活動に参加させて頂き、被災された方の一助になれたことを非常にうれしく思います。また、こういった場を設けて頂いた、発起人である高野光二郎参議院議員や隊長である三谷剛平氏また隊員の各位には、深く感謝致します。

今後、こういった機会があれば、微力ですが是非参加をさせて頂きたいと思ひます。

最後に、今回の震災でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々や復興に尽力されている方々が、一日も早く平穏な日常を取り戻すことを深く願っています。